

令和7年10月 岡崎市文化財保護審議会会議録

開催日時：令和7年10月31日（金） 午前10時～午前11時45分

開催場所：岡崎市役所東庁舎7階 701号室

出席委員：9名

杉野丞委員（会長）・荒井信貴委員（会長職務代理者）・内田尚之委員、奥田敏春委員・小早川道子委員・杉坂美典委員・堀江登志実委員・山田伸子委員・渡邊幹男委員

欠席委員：1名

鷹巣純委員

説明のために出席した事務局職員：11名

浅岡克徳教育部長

社会教育課：柴田英代課長・浦上大助副課長・遠藤研吾岡崎城跡係長・岡山幸男文化財係長・浦野加穂子主査・澤井奎志主事・久野千秋主事・川出康博会計年度任用職員

まちづくり推進課（担当課）：中田真也課長、中村敦景観まちづくり係長

傍聴者：なし

議事内容

1 諮問事項

(1) 能見神明宮大祭の市指定無形民俗文化財指定について【非公開】

2 協議事項

(1) 岡崎市歴史的風致維持向上計画（第2期）案について【公開】

3 その他

次回の審議会開催について

議題及び議事の要旨

1 諮問事項

(1) 能見神明宮大祭の市指定無形民俗文化財指定について【非公開】

2 協議事項

(1) 岡崎市歴史的風致維持向上計画（第2期）案について【公開】

【事務局：説明】

本案件は、平成28年に認定された計画の2期計画である。引続き歴史まちづくりを進めていくためには、今年度中に国からの認定取得をしていく必要があり、第1期計画の成果を踏まえた更新となっている。今後のスケジュールとして12月にパブリックコメントを行い、次回2月の文化財保護審議会でも議題に挙げていく予定である。

【質疑応答】

委員：91及び92ページの図に市指定天然記念物が載っていないが何か理由があるのか。
事務局：煩雑になるため、載せていなかったが表現を工夫して追記する。

委員：51ページの朱印状は、本文の内容と合致していないため、相応しくない。

委員：基本理念に「古都・岡崎」あるが、どのような意味で使用しているのか。また、滝山寺の「滝」の字に「瀧」の字を使用している箇所があるが、どのように使い分け

ているのか。

事務局：従来、「家康の生まれたお城のある町」として江戸時代からの歴史に焦点を当てていたが、それ以前の鎌倉、室町から続く長い歴史を含める意味で「古都」を使用した。

委員：長い歴史にこだわるなら、正確な用語を使うべきである。

事務局：基本的に常用漢字の「滝」の字を使用しているが、鬼祭りの指定名称は「瀧山寺鬼祭り」のため鬼祭りについては「瀧」の字を使用している。

委員：東海道だけでなく、足助街道など新しい視点を加えてもいいのではないか。

会長：各委員から出た意見を踏まえて事業を進めてほしい。

3 その他

- (1) 次回の審議会開催について
令和8年2月に開催予定。